

令和7年度事業計画について

当観光協会では、会員をはじめ、市内外の関係者と連携を強化し、高付加価値を地域全体で創出していくため、令和7年度は、次のとおり取り組みを進めます。

1 誘客宣伝事業

前年度は地域ブランディングを進め、上田ならではの旅の魅力を発信してまいりました。今年度は、これに加えて宿泊と体験を「うえだトリップなび」内で予約・決済ができるDX化に挑戦します。また、長年の課題である若年層の誘客に対して、新たなアプローチを行い、首都圏の若者をターゲットとした取組を行います。

(1) 宿泊と体験を「うえだトリップなび」内で予約・決済ができるDX化

観光客が旅マエに、宿泊先と体験コンテンツをそれぞれ予約・決済できる仕組みを、(一社)信州上田観光協会ホームページ「うえだトリップなび」内に設置し、手続きをワンストップで完了する仕様に改修いたします。この改修は、(一社)信州上田観光協会の収益事業になることも想定しています。

また、体験コンテンツについては、体験コンテンツ自体をギフト販売する新規プロモーションを進めるとともに、着地型(体験型)旅行商品造成支援では、信濃国分寺御開帳や北向観音開山1,200年御開帳等、今年度の上田市の誘客コンテンツに対する新規募集型企画旅行が増え、幅広い旅行会社に利用していただけるように制度を再構築して実施いたします。

(2) 若年層の誘客

上田市の観光の異なる一面を特集する「ニューウエダ」事業において、都会の若者の関心が高まる夜のスナックに注目し、「袋町」スナックを取り上げて、昭和レトロをコンセプトとして都会の若者へ響くSNS動画など情報発信を並行して行い、上田への誘客を図ります。また、春の上田城千本桜まつりと連携して事業を展開いたします。

(3) おまつり連携事業

温泉誘客推進部会における上田城千本桜まつりと温泉地の連携事業として、OTAを活用した誘客事業を実施し、上田城を訪れた宿泊客が城外へ流れ、城下町を周遊する仕組み作りに取り組みます。

また、閑散期対策の冬の誘客も市内各観光協会と連携しながら継続実施し、宿泊に繋げる取組を検討します。

(4) 宣伝手法

昨年実施した「カメラ女子」の取り組みを深化させたフォトコンテストの実施や影響力のある広告媒体を活用した情報発信を進めます。

また、PR用VR素材を取得し、当観光協会HP、SNS、OTA、商談会、物産展等でのPRに活用します。

新しい取り組みとして、上田在住の外国人に対してインタビューを行い、その外国人

の上田市内のお勧めスポットを動画撮影して、Instagram や YouTube にアップして誘客に繋がります。本事業では上田市内の日本人学校との連携も検討します。

2 インバウンド推進事業

令和6年の訪日外国人数及び旅行消費額がコロナ禍以前を超え、過去最高を記録した中、当観光協会でも引き続きインバウンド推進部会を中心に、外国人に上田市を印象付けるためのプロモーションに取り組めます。

(1) タイと台湾へのプロモーションの継続

ターゲットを引き続きタイと台湾に設定し、タイに対しては、当観光協会メインターゲット3年目として、タイ人の国民性に響きやすい「春の上田城の桜」を一貫したコンセプトとして、PRを継続して進めてまいります。台湾に対しては、しなの鉄道沿線自治体共通ターゲットとして、インバウンド先進地である軽井沢と連携したPRを広域展開します。

(2) 「B to B」(当観光協会×現地旅行会社)と「B to C」(当観光協会×個人旅行者)のプロモーション

現地プロモーション前に海外メディアやOTAを活用したオンライン広告の出稿、旅行博での現地旅行代理店等への直接商談実施による現地プロモーションなどの「to B」と、当観光協会HPの多言語対応、動画での情報発信、インフルエンサーを招聘したファムトリップなどの「to C」を、オンラインとオフライン両面からPRを図ります。

3 フィルムコミッション事業

上田ロケ作品をより多く誘致することで、撮影における上田市内での宿泊、飲食などの経済効果を最大限に生み出します。

(1) 上田ロケ新作作品のPRと発信

新作映画として『きさらぎ駅 Re:』『わたのはらぞこ』『笑えない世界でも』など上田ロケ作品が多数劇場公開されることから、映像作品を通じ、“映画のまち うえだ”を市内外にPRし、上田市の魅力を発信していきます。併せてロケ地を巡る“聖地巡礼”に繋がります。

(2) サマーウォーズ公開15周年事業

令和6年度に引き続き、『サマーウォーズ』公開15周年中であることから、無料上映会などの周年事業を企画し、サマーウォーズファンへのおもてなしの体制を整え、ファンの来訪を促します。

(3) 信州上田フィルムコミッション25周年に向けた取り組みの実施

信州上田フィルムコミッションは、令和8年度に25周年を迎えることから、マスコットキャラクター“えふし〜か”の活用等、25周年に合わせて、更なるPRを検討します。

4 信州上田おもてなし武将隊事業

上田市の「顔」ともいえる信州上田おもてなし武将隊による観光客誘客を通じて、上田市のファン、武将隊のファン獲得を図ります。

(1) 市内外でのPR

上田城跡公園での観光客に対するおもてなしにはじまり、全国の武将隊とのイベント連携や物産展でのPR活動、訪日外国人向けのPR活動に取り組むことで市外のファンを獲得します。特に令和7年度は、大阪・関西万博の開催に合わせ、関西圏のPR強化を積極的に行います。

また、市内の保育園や幼稚園、商業施設、協会員店舗、上田市と連携した地域活動を引き続き行い、市民ファン獲得も併せて推進します。

(2) 自主財源の獲得

イベント出演料、スポンサー等を獲得し、信州上田おもてなし武将隊の活動資金の増加と安定化を図ります。また、新たな信州上田おもてなし武将隊グッズの企画、商品化、販売を通じて、売店の売上確保に結びつけます。

5 四季の魅力を活かした誘客イベント事業

「稼げる観光地づくり」の実現と全国へ向けた信州上田の魅力発信のため、四季の魅力を活かしたおまつりを主催し、地元事業者と共に地域経済の活性化を図ります。なお、上田城跡公園では武者溜り整備事業に伴う調査や工事が進められていることから、市の担当部署とも連携して、事業の進捗に合わせて、賑わいの創出と安全の確保を両立する最適な会場づくりに心がけ、観光客が毎年訪れたいくなるような「まつり」を目指します。

(1) 上田城千本桜まつり

春の上田城千本桜まつりを通じ、観光の目的地に選ばれるよう、誘客効果が高い宿泊割引キャンペーンを温泉地と連携して実施し、宿泊客の増加を図ります。

また、グルメや特産品等、魅力的な商品が並ぶ春の「二の丸横丁」を開き、誘客するとともに、その観光客を観光会館売店はじめ、柳町や中心市街地の周遊に結び付けます。

(2) 上田城紅葉まつり

秋の紅葉まつりにおいては、「上田真田まつり」、「産業未来フェス in UEDA 2025」など、他の秋イベントと引き続き連携し、相乗効果で上田城周辺及び中心市街地の賑わいを創出します。

また、食欲の秋にふさわしいグルメが揃う「尼ヶ淵横丁」を開き、誘客するとともに、その観光客を観光会館売店はじめ、柳町や中心市街地の周遊に結び付けます。

(3) 別所温泉及び鹿教湯温泉における氷灯ろうまつりの支援

冬の別所温泉と鹿教湯温泉で行われる「氷灯ろう」のまつりでは、温泉地同士の連携を強固にするため、当観光協会も情報発信や開催協力などの支援を行い、双方の温泉地の誘客に寄与します。

6 売店事業

市内観光事業者等のアンテナショップとして位置づけつつ、観光協会の収入を得る売店として引き続き運営します。具体的には、実店舗とオンラインショップの両方におけるお客様の要望を積極的に拾いながら、売れ筋商品の把握、商品陳列の工夫、季節に応じた販促企画や売り場作り(貼り紙・POP 等)に取り組めます。

また、市外物産展では、地域性や客層、時流に合わせた商品を戦略的に販売し、「信州上田」の知名度向上に貢献します。

なお、上田市に訪れた観光客が旅行中に直接ふるさと納税を行える仕組みとして、3月5日(水)から、「ふるさと納税ショップ たびふる UEDA」を売店の一角に開設いたしました。業務委託先の株式会社デイリー・インフォメーションと連携しながら、新たな魅力として多くの観光客に認識されるようPRを実施します。